年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（３学年） 教科　　科目　ワーキングプログラムC

教　科：　工業　　科　目：　ワーキングプログラムC　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　F　組～　　組

教科担当者：F組：風戸・星・金ヵ

使用教科書：（ 無　　）

教科　工業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 企業のもつ社会的な意義や役割と業種や職種について理解するとともに，企業実習に関連する知識を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 企業実習を体感することにより、就業に関する自己課題を発見し，自己適正を思考する力を養う。企業実習に関する資料を作成する中で、自己表現をする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 仕事に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び，主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　ワーキングプログラムC　　の評価基準：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
① 就職活動に必要な知識を理解できている。 ② 企業実習日誌や関係書類・要旨集を的確に作成できている。 ③ 企業実習の振返りを行い、企業実習で体験した内容を理解できている。	① 企業実習・就職活動に必要な書類をきれいにわかりやすく作成している。 ②企業実習で体験した内容を整理でき、説明することができる。 ③就職活動にて今まで得た経験を理論的に説明できる。	①時間内に作業を終了させる取組みをしている。 ②提出物を期日内に提出する取り組みをしている。 ③ 積極的に授業や実習・進路活動に取り組み、適切な発言や行動をしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	事前準備 ・書類作成の的確及び期限順守 【知識・思考・主体性】 ①守秘義務に関する誓約書 ②自己紹介カード ③交通経路 ④緊急対応組織図 ⑤インターンシップ定期申請 ・日誌作成、事前指導【主体性】	【知識・思考・主体性】 ・就職を考慮して、企業へ提出する資料させる。 ・事前訪問時に問い合わせ項目や就業時間、作業内容を打ち合わせすることを指導する。	【知識・思考】 ・作成資料の的確な内容、きれいさなど ・事前訪問の打ち合わせ内容、遅刻有無 【主体性】 ・提出物の提出期限順守 ・取り組み態度	○	○	○	2
	定期考査なし						0
	企業実習 【知識】・業務内容の理解と習得 ・的確な業務の遂行 【思考】・遅刻・欠席の事前連絡 ・実習日誌の的確な作成 【主体性】目標設定と目標達成	【知識・思考・主体性】 ・心構えと企業による個別指導 ・体調不良、勤務状況の報告の徹底 ・中間登校時に実習日誌確認、指導 ・実習日誌の作成について ①勤務時間の記載 ②日報記載内容③日誌のまとめ ・各自の目標設定と目標達成	【知識・思考・主体性】 ・遅刻無し、体調不良による欠席一日以内 ・実習日誌　①勤務時間の記載 ②日報記載（2行以上&内容） ③日誌のまとめ（9割&内容） ・設定目標の到達度 ・企業評価及び巡回教員評価 ・取り組み態度	○	○	○	112
	事後指導 【知識】お礼状の作成 実習日誌確認 【思考】体験企業等への進路希望確認	【知識・思考・主体性】 ①お礼状内容の確認。適正な表現の指導。 ②実習日誌　①勤務時間確認	【知識】お礼状の表現と清書状況 【思考】お礼状の内容 【主体性】 ・取り組み態度 ・お礼状の提出期限順守	○	○	○	2
	JOBFES 【知識】進路決定に向けて職種や企業理解。 【思考・主体性】企業とのコミュニケーションをはかる。	【知識】マナーの厳守指導 【思考・主体性】説明に即した質疑応答の指導	【知識・思考・主体性】 ・企業評価 ・ワークシート取り組み及び内容 ・説明取り組み状況	○	○	○	12
	就職・進路活動 【知識】履歴書　志望動機の書き方を理解する。 【思考・主体性】進路検討	【知識】志望動機の書き方手順指導 【思考・主体性】志望職種からの企業研究	【知識・思考・主体性】 ・取り組み状況	○	○	○	6
2学期	就職・進路活動 【知識・思考・主体性】 面接力の向上	【知識・思考・主体性】 個別の面接指導	【知識・思考・主体性】 取り組み状況 面接力	○	○	○	2
	定期考査なし						0
	要旨集の作成 【知識・思考・主体性】 3年間の企業実習をまとめる	【知識・思考・主体性】 項目に従い、フォーマットに合わせて書く企業実習についてまとめる。	【知識・思考】 各企業実習の内容 【主体性】 取り組み状況 提出期限までの提出	○	○	○	10
	定期考査なし						0
3学期	要旨集の完成 【知識・思考・主体性】 3年間の企業実習をまとめる	【知識・思考・主体性】 項目に従い、フォーマットに合わせて書く企業実習についてまとめる。	【知識・思考】 各企業実習の内容 【主体性】 取り組み状況 提出期限までの提出	○	○	○	1
	定期考査なし						0
							合計 147

年間授業計画

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　工業　　科目 課題研究

教　科：　工業　　科　目：　課題研究　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　3 学年　F 組

教科担当者：（　金井　　）　（　風戸　　）　（　講師１　　）（　講師２　　）

使用教科書：（ 各班による自作プリント　他　　）

教科　工業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 各班にて課題を発見し、科学的な根拠に基づき創造的に解決することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　課題研究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
研究対象に関する基礎的な知識を理解し、課題を解決するための取り組みができる。 ・研究結果を正しくまとめることができる。 ・研究に必要な装置等の原理を理解し、正しく操作できる。	・研究結果を正しく理解し、説明できる。 ・問題点を発見し，それに対する解決方法を考えることができる。 ・解決方法をグループでまとめ、提案できる。	・課題を自ら見いだして設定し、課題解決に対して意欲的に取り組むことができる。 ・ものづくりを通じて、社会を支え産業の発展を担うことができるように、主体的・協働的に学習に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	課題研究の研究内容選択 研究内容の探求 【知識及び技能】 各班による研究目的や研究内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各班の研究を理解し、希望を提出している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各班の研究目的の不明点を調べるなどの取組みをしている。 提出物を期日内に提出する取り組みをしている。	・指導事項： 各班の研究内容や目的の説明 ・教材: プリント	【知識・技能】 提出書類を正しく作成できている。 【思考・判断・表現】 研究内容を理解して選択できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時間内に提出できる取り組みを行っている。 ・真面目に授業取り組みを行っている。	○	○	○	2
	各班の研究内容の理解及び検討 【知識及び技能】 各班の研究内容を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 研究手順を検討できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組み、適切な発言や行動をしている。	・指導事項： 研究目的の説明 使用機器の説明及び習得 グループ討議 ・教材: プリント、PCソフト、機器	【知識・技能】 ・研究目的を理解している。 ・使用機器の習得状況。 【思考・判断・表現】 ・研究手順を設定している。 ・グループにて協議ができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 真面目に授業に取り組みを行っている。	○	○	○	23
2学期	各班の研究準備 【知識及び技能】 各班の研究内容を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 研究手順を検討できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組み、適切な発言や行動をしている。	・指導事項： 研究目的の説明 使用機器の説明及び習得 グループ討議 ・教材: プリント、PCソフト、機器	【知識・技能】 ・研究目的に必要な使用機器の習得状況。 【思考・判断・表現】 ・研究手順の設定完了。 ・グループにて協議状況。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・真面目に授業に取り組みを行っている。 ・担当教員のスケジュールに沿って推進出来ている。	○	○	○	4
	研究の推進 【知識及び技能】 各班の研究内容を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 研究手順を検討できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組み、適切な発言や行動をしている。	・指導事項： 研究結果の協議 グループ討議 ・教材: プリント、PCソフト、機器	【知識・技能】 ・研究結果の要因認識。 【思考・判断・表現】 ・研究結果の対策。 ・グループでの研究協議状況。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・真面目に授業に取り組みを行っている。 ・担当教員のスケジュールに沿って推進出来ている。	○	○	○	23
	発表資料作成 【知識及び技能】 研究結果を理解した発表資料を作成している。 【思考力、判断力、表現力等】 研究内容がわかりやすく説明される資料になっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 指定期間内に発表資料を終了させる取組みをしている。 積極的に研究やまとめに取り組み、適切な発言や行動をしている。	・指導事項： 各書類作成・発表資料、事前発表 ・教材: PC	【知識・技能】 ・研究結果の発表資料への反映状況。 【思考・判断・表現】 ・研究結果の報告方法。 ・グループでの研究協議結果の反映。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・真面目に授業に取り組みを行っている。 ・発表資料の完成度。	○	○	○	16
3学期	課題研究成果発表 【知識及び技能】 研究結果を理解した発表をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 研究内容がわかりやすく、興味がわく説明をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に研究やまとめに取り組み、適切な発表をしている。	・指導事項： 発表手法 ・教材: PC	【知識・技能】 ・研究結果の発表状況。 【思考・判断・表現】 ・研究結果の報告・説明方法。 ・グループでのでの発表方法。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・真面目に授業に取り組みを行っている。 ・発表の完成度。	○	○	○	12 合計 80

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（３学年） 教科　　科目 機械概要

教　科：　工業　　科　目：　工業技術　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　F　組～　　組

教科担当者：F組：講師

使用教科書：（ 機械設計１・２　　）

教科　機械概要　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】設計するための基礎となる力学・材料力学・機構学の基礎的な事項を理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】機械設計や生産における課題に対して思考し、学習した知識から、自ら判断し合理的に解を導ける力を養う

【学びに向かう力、人間性等】機械に関する広い視野を持つことを目指し、自ら学び工業の発展に主体的に取り組む態度を養う。

科目　機械概要　　の評価基準：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械設計の各分野について，基礎的な知識と技術を体系的・系統的に身に付け，社会環境に適した機械設計の意義や役割を理解している。	機械設計に関する課題を発見し，倫理観を踏まえた思考・判断力に基づいて，合理的かつ創造的に課題について考え，その成果を的確に表現する力を身に付ける	機械設計に関する諸事象について関心をもち，社会の改善・向上を目指して，自ら学び，工業の発展に主体的・協働的な態度および創造的・実践的な態度を身に付けようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	機械の仕組み	機構・節（リンク）・制御機構について 日本産業規格（ＪＩＳ）・国際標準化機構（ＩＳＯ）	・ノートの提出 ・プリントの取り組み方 ・考査結果	○	○	○	2
	定期考査						0
	機械に働く力 ・力について 機械の運動 ・	・力のベクトル　力が体験できる事例をあげ理解させる。力の合成・分解　作図による力の合成法を理解させるようにする。 ・身近にある機械を例にとり、授業を進める。重力と質量の関係について理解させる。 ・回転運動をする物体は工場にある旋盤やモータの動きを例にあげ学習する	・プリントの取り組み方 ・考査結果	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	仕事と動力	・せん断荷重とせん断変形　垂直応力・せん断応力にかかわらず、応力がどの断面にどのように生じているか考えさせる。 ・曲げモーメントと曲げ応力の問題と解答を解説をする。	・プリントの取り組み方 ・考査結果	○	○	○	14
	定期考査						1
	１．輪軸 ２．歯形　３．インボリュート平歯車 ４．歯車伝動装置	１．滑車について学ぶ。定滑車と動滑車の違いと仕事について理解させる。 ２．歯車の種類を知る。 ３．基準ラック、歯の大きさモジュールを理解させる。 ４．差動伝動装置の理解や遊星歯車を理解させる。	・プリントの取り組み方 ・考査結果	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	ねじ １．ねじの強さ ２．ねじのはめあい長さ 3.ねじを回すﾄﾙｸと緩み止め	１．軸方向に受けるねじ強さを理解させる。 ２．締め付け用ねじのはめあい長さを理解させる。 ３．１）ねじに働く力　２）ねじを回すトルクを理解させる。	・プリントの取り組み方 ・考査結果	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 37

年間授業計画

東京都立多摩工科高等学校

令和7年度（3学年用） 教科　工　業　科目 機械製図

教　科：工　業　　科　目：機械製図　　単位数：2　単位

対象学年組：第　3 学年　F　組

教科担当者：（F組：講　師）（組：　　）（組：　　）（組：　　）（組：　　）（組：　　）

使用教科書：（実教出版　機械製図）

教科　工　業　の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　機械製図　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析）し，考察を深めるとともに，機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。	工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○機械要素の製図 ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 機械要素の製図概要 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	○機械要素の製図　（軸受） ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 軸受けの製図を通して、表面粗さの表し方や寸法公差記号の利用について学習する。 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	○機械要素の製図　（軸受） ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 ねじの基本原理や種類等を理解し、ねじ部の図示法やボルト・ナットの略画法について学習する。 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
2学期	○機械要素の製図（ボルトナット） ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 ねじの基本原理や種類等を理解し、ねじ部の図示法やボルト・ナットの略画法について学習する。 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	○機械要素の製図（ボルトナット） ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 ねじの基本原理や種類等を理解し、ねじ部の図示法やボルト・ナットの略画法について学習する。 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	○機械要素の製図（スパナ） ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 スパナの作図方法や接続Rについて学習する。 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	○機械要素のCAD製図（平歯車） ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 平歯車のかき方を理解し，CADでの書き方について実技を通して学習する。 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
3学期	○機械要素のCAD製図（平歯車） ・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関するJIS規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。	・指導事項 平歯車のかき方を理解し，CADでの書き方について実技を通して学習する。 ・教材 機械製図 ・Teamsの活用　等	【知識及び技能】 ・図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
							合計 42

年間授業計画　様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科　工　工業　　科目　実習Ⅱ

教　科：コ　工業　　科　目：　実習Ⅱ　　単位数：　3　単位　（合算４単位）

対象学年組：第　3 学年　F　組～　　組

教科担当者：（　F組：浦和　　（　F組：石川　　（　F組：千葉　　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 実習プリント、実習機器、関数電卓　　）

教科　工業　　の目標：　工業に関する応用的技術を実習によって体験させ、専門分野における技術・関心を高める

【 知　識　及　び　技　能 】工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上を意欲的に取り組む態度を養う。

【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野と表現する能力や態度を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】工業の発展と環境・資源などと調和のとれたあり方及び現代社会における意義・役割を理解している。

科目　実習Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むと共に、社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身に付ける。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を明確に表現する能力と態度を身に付ける。	工業の各分野に関する応用的な知識と技術を身に付け、工業の発展と環境・資源など調和の取れた在り方及び現代社会における工業の意義や役割を理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　機械系 レーザー加工	・指導事項：　レーザー加工の基礎・応用を理解する。 ・教材：金属素材・アクリル樹脂・プラスチック・自己作成プリント	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	8
	B 単元：電気系 電気工事	・指導事項：電気工事応用を理解する。 ・教材：電気工事工具・電気工事材料・電気工事材料・電気工事の自己作成プリント	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	8
	C 単元：環境化学系 バイオ実習	・指導事項：バイオの基礎・応用を理解する。 ・教材：自己作成の実習プリント、	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	8
2学期	A 単元　機械系 旋盤	・指導事項：　旋盤の加工の基礎・応用を理解する。 ・教材：自己作成の実習プリント	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	12
	B 単元：電気系 リレーシーケンス	・指導事項：　リレーシーケンスの基礎・応用を理解する。 ・教材：自己作成プリント	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	12
	C 単元：環境化学系 保存食実習	・指導事項：多様な機器を用いて保存食実習を行う。 ・教材：自己作成の実修所	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	12
3学期	A 単元　機械系 旋盤	・指導事項：　旋盤の加工の基礎・応用を理解する。 ・教材：自己作成の実習プリント	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	4
	B 単元：電気系 リレーシーケンス	・指導事項：　リレーシーケンスの基礎・応用を理解する。 ・教材：自己作成プリント	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	4
	C 単元：環境化学系 保存食実習	・指導事項：多様な機器を用いて保存食実習を行う。 ・教材：自己作成プリント	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業道具の確認	○	○	○	4 合計 ７２

年間授業計画

高等学校 令和７年度（３学年） 教科　　工業　　科目 地球環境化学

教　科： 工業　　科　目： 地球環境化学　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 F 組～　　組

教科担当者：F組：石川、千葉

使用教科書：（ 地球環境化学 ）

教科 地球環境化学　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】地球規模の環境問題と資源の有効利用等について詳細に学習する。

【思考力、判断力、表現力等】地球環境における課題に対して思考し、学習した知識から、自ら判断し合理的に解を導ける力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地球環境化学に関する広い視野を持つことを目指し、自ら学び工業の発展に主体的に取り組む態度を養う。

科目 地球環境化学　　の評価基準：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地球環境化学の各分野について，基礎的な知識と技術を体系的・系統的に身に付け，社会環境に適した地球環境化学の意義や役割を理解している。	地球環境化学に関する課題を発見し，倫理観を踏まえた思考・判断力に基づいて，合理的かつ創造的に課題について考え，その成果を的確に表現する力を身に付ける。	地球環境化学に関する諸事象について関心をもち，社会の改善・向上を目指して，自ら学び，工業の発展に主体的・協働的な態度および創造的・実践的な態度を身に付けようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1、人間活動と環境・環境調査	環境に関する基本　物質資源・調査項目方法	・ノートの提出 ・プリントの取り組み方 ・環境調査　・ 発表資料作り	○	○	○	2
	定期考査						0
	2、人間活動を支える物質資源・調査の目的と方法　3、人間活動を支える物質資源・大気の調査、土壌の調査	エネルギー資源・環境モニタリング 効率的なエネルギー活用・大気の測定、土壌の保全	・ノートの提出 ・プリントの取り組み方 ・環境調査　・ 発表資料作り	○	○	○	6
	定期考査						0
2学期	4、資源の利用と環境問題 1、人間活動と環境・環境調査	研究発表　環境に関する基本　物質資源・調査項目方法	・ノートの提出 ・プリントの取り組み方 ・環境調査　・ 発表資料作り	○	○	○	12
	定期考査						
	2、人間活動を支える物質資源・調査の目的と方法　3、人間活動を支える物質資源・大気の調査、土壌の調査	エネルギー資源・環境モニタリング 効率的なエネルギー活用・大気の測定、土壌の保全	・ノートの提出 ・プリントの取り組み方 ・環境調査　・ 発表資料作り	○	○	○	13
	定期考査						
3学期	4、資源の利用と環境問題	研究発表	・ノートの提出 ・プリントの取り組み方 ・環境調査　・ 発表資料作り	○	○	○	7
	定期考査						
							合計 40

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科 工業 科目 電気回路

教 科： 工業 科 目： 電気回路 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 F 組～ 組

教科担当者：（F組：熊澤 ） （F組： ）

使用教科書：（ 精選電気回路 ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】 電気現象を量的に取り扱うことに、必要な資質・能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】 ものづくりを電気現象やそれらの量的な取り扱いの視点から捉えていく考え方を学習する。

【学びに向かう力、人間性等】 電気回路の技術を活用して、工業生産を担う資質・能力を養う学生を育てる。

科目 電気回路 の目標： 電気分野における、電気回路の法則・理論や基本的な量の取り扱い方法を習得する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念を体系的に理解させる。	電気理論の原理・法則を論理的に考察する力を身に付ける。	基本的な電気理論について探求心をもって取り組んで行こうとしている。。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	交流回路 交流の発生と表し方・電流 電圧・電力ついて理解させる。	・正弦波交流の発生原理、角周波数と周波数の関係、瞬時値と実効値・平均値・位相と位相差、ＲＬＣ直並列回路に関するベクトル表現と計算方法・消費電力、力率、皮相電力、無効電力及び無効率などに関する物理的な意味を理解し、それらに関する計算ができるようにする。	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 授業道具の確認	○	○	○	5
							0
	交流回路 交流の発生と表し方・電流 電圧・電力ついて理解させる。	・正弦波交流の発生原理、角周波数と周波数の関係、瞬時値と実効値・平均値・位相と位相差、ＲＬＣ直並列回路に関するベクトル表現と計算方法・消費電力、力率、皮相電力、無効電力及び無効率などに関する物理的な意味を理解し、それらに関する計算ができるようにする。	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 授業道具の確認	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2学期	交流回路の計算 記号法の取扱い、計算、回路に関する定理について理解させる。	・複素数について理解し、複素数による計算ができるようにする。	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 授業道具の確認	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	交流回路の計算 回路に関する定理を理解させる。	・交流回路におけるキルヒホッフの法則、重ね合わせの理、鳳・テブナンの定理を適用した計算ができるようにする。	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 授業道具の確認	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	交流回路の計算 回路に関する定理を理解させる。	・交流回路におけるキルヒホッフの法則、重ね合わせの理、鳳・テブナンの定理を適用した計算ができるようにする。	【知識・技能】 行動観察 【思考・判断・表現】 課題の取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 授業道具の確認	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
						合計	37